

# 平成29年2月定例教育委員会議事録

(白石町教育委員会会議規則第16条及び第17条の規定により作成)

- 1 日 時 平成29年2月17日(火) 午前10時 役場3階会議室5
- 2 出席委員 北村教育長 稲佐委員 大串委員 松尾委員
- 3 事務局職員 松尾学校教育課長 千布生涯学習課長  
石橋主任指導主事 中村指導主事  
出雲庶務係長 原学校教育係長
- 4 前回議事録の承認  
1月定例教育委員会の会議録 【一部修正後承認】
- 5 教育長の報告 別紙資料のとおり
- 6 会議に付した議案  
付議4号 平成29年度主要事業について  
付議5号 白石町教育委員会適応教室事業指導員の雇用及び就労に関する要綱  
の一部改正について  
付議6号 平成29年度準要保護の認定について
- 7 動議の提出者 なし
- 8 議事の概要 別紙資料のとおり
- 9 議決事項 付議第4号から付議第6号まですべて議決
- 10 その他
  - ・事務局からの報告
  - ・傍聴者 無し

1 開 会 10:00～

松尾学校教育課長

2 前回議事録の承認 10:01～

1月定例教育委員会の会議録を資料により説明

委員の発言内容を一部修正

**委員全員承認**

3 教育長報告 10:05～

(前回以降の主な動向)

- ・1/28 第7回おおどぼう倶楽部「防災について考えてみよう」
- ・2/6 臨時議会(開会) 2/10 閉会
- ・2/9 福富小中一貫教育研究に係る公開授業研究会  
第5学年 社会科
- ・2/10 第1回人事異動協議会・合同会議
- ・2/11 第17回歌垣の里・白石 三十一文字コンテスト表彰式  
応募数2166首  
【歌垣賞】人として人を忘れぬそのために四肢麻痺の俺恋していたい

(問題行動等報告)

- ・問題行動 なし
- ・いじめ問題 小学校:なし(解消1件1名) 中学校:なし
- ・不登校 30日以上 小学生2名・中学生21名  
30日未満 小学生2名・中学生 4名

(杵西・藤津地域第1回人事異動協議会)

- ・学校支援状況 (教育事務所が学校に対して行っている)
- ・佐賀県小中学校学習状況調査「12月調査」の結果について  
4年生に課題がある 家庭との連携が必要
- ・次期学習指導要領に向けた解説について
- ・平成29年度児童生徒の活用力向上研究指定校について  
指定校・・・白石中学校区
- ・平成29年度佐賀県立特別支援学校小・中学学部入学並びに転学該当者数  
について
- ・発達障害やその傾向のある幼児児童生徒の支援実態調査結果
- ・工業系高校生による「ものづくり体験教室」実施事業

- ・ 賤称語を使用した事象の発生について
- ・ 交通事故発生（加害等）状況調べ

（教育委員会佐賀県連絡協議会及び佐賀県市町教育長連合会）

- ・ 市町立小・中学校学級編制基準
- ・ 市町立小中学校における児童生徒数、学級数の増減  
生徒数減 学級数増
- ・ 平成 29 年度 市町立小中学校教職員定数

（その他）

- ・ 県立高校再編統合にかかる新校名案について
- ・ 次期学習指導要領の改正案公表について

稲佐委員 : 職員定数の基準日はいつなのか？

事務局 : 最終は入学式の日。

稲佐委員 : 次期学習指導要領について 白石町教育の環境整備、ITの環境整備等の条件整備をしないと教員もどうやって行こうかということになる。文科省が言っているからこうしなくてははいけないと拘らなくてもいいのでは…。

北村教育長 : 学習指導要領の性格については、いろいろ言われている。国の教育の最低基準を示すものなど。時代の動きの中で将来が全く見えない状況。例えば 20 年後の何割か忘れたが今全くないような職業に就く。今存在しないような職業に多くの子どもたちが就く。そういうのに対応できる教育も考えていかなければならない。極端に言えば無視はできない。地方自治も国と一体となって進めなくてははいけない。ただ今回については、指導方法も含めて目的論もかなり詳しく書かれている。現場で工夫していかななくてははいけない。しかし、今まで以上に批判もある。質が高すぎて学校現場はそれどころではない。もっと基礎の部分に追われている。問題行動も低年齢化している。もう少し現実を見てくれという意見が今までになく多い。学者の夢が先行しているのではないか、現場は、下位のレベルの到達も思わしくない状況で高度なものを要求されるのはどうでしょうかという意見も出ている。

国の大きな施策、方針なので、本町もこれに沿って進めていかななくてははいけない。今までの積み重ねの上にこの新しいのが乗って

こなくてはと思っている。

#### 4 付議事項の協議 10:50～

##### 付議第4号

##### 平成29年度主要事業について

資料に沿って説明。

大串委員 : 学校施設改修費は、学校からの要望による予算要求なのか。

事務局 : 施設の改修については、年次計画により行っている。また、年に1回、校長、事務職、学校教育課の職員で全学校を回って修繕の優先順位をきめ行っているものもある。

稲佐委員 : 適応教室の事業効果は？例えば、不登校の子が登校できるようになるなど。予算面では、スクールカウンセラーの予算よりも多いようだが。

事務局 : 通級者は、数名。家から出られない子が適応教室「あい」にきて、今年は小学6年生がだんだん進学意識が高まり学校に行けるようになった。心の安定が促されたことによって学校に通えるようになった。ただ、「あい」も居心地がいいだけだとそこまでになる。そこから、学校につなげる指導もしている。直ぐに学校にとはならないが、効果は表れているのではないかとと思っている。

稲佐委員 : 青少年育成事業の中で、町内の各寺院で座禅会と表現されたが、座禅のみならず、勉強会や囲碁教室等も行っている。座禅会の他勉強会なども紹介した方がより分かりやすいと思う。

事務局 : 説明不足のところがあった。各寺院でいろんな活動を行っている。

大串委員 : パークゴルフ場がオープンして数ヶ月経つが利用状況は？

事務局 : 議会でも質問があり、年間利用者を3千人と見込んでいると答弁をしている。町内にパークゴルフ協会があり、会員が70名。町民の方は、パークゴルフ自体を知らないと思う。どれぐらい来られるか見当がつかない中で参考にしたのが、むつごろウカントリーの利用状況。3千人を365日で割ると1日約8人になる。それくらい来てもらったらとの思いもあり見積もった。オープンからの利用状況を見てみれば、年間それ位はいきそうだなと思っている。

**委員全員承認**

##### 付議第5号

白石町教育委員会適応教室事業指導員の雇用及び就労に関する要綱  
の一部改正について  
資料に沿って説明。  
委員全員承認

付議第6号

平成29年度準要保護の認定について  
資料に沿って説明。  
認定 39件  
否認定 2件

5 その他 12:04～

- (1) 卒業式、入学式の出席割振りについて
- (2) 第22回歌垣の郷ロードレース大会について
- (3) 3月行事予定表

次回3月定例会の日時決定 3月22日(水)午前10時～

6 閉会 12:10